



おめでとう 150周年

学校長 中山 光恵

12月

早いもので今年も残りひと月となりました。秋を楽しむ間もなく、校庭の桜の葉が赤くなったかと思えば一気に落ちて、イチョウも黄色になりつつあります。ついこの間まで半袖で走り回っていた子どもたちも、朝は手袋やマフラーを着ける子がちらほらと増えました。とは言え、元気いっぱいの子どもたちは、15日の「150周年記念 ジャンプ・フェスタ」に向けて、めあてを達成しようと縄跳びの練習にがんばっています。記録会では、保護者の皆様にもお子様のがんばる姿をご覧いただき、応援をお願いします。

さて、150周年記念行事として、11月17日に児童のフェスティバル「みんなハッピー150バースデー」を、18日に記念式典を行いました。これまで、子どもたちの創立150周年記念事業は、昨年度から児童実行委員会が中心となって計画・準備・実行してきました。

17日の「みんなハッピー150バースデー」では、まず学年発表をしました。歌や呼びかけ、ダンス、音読劇、インタビュー動画など、それぞれの学年でお祝いの気持ちを表現しました。次に、なかよしグループのペア学年でグループをつくり、スタンプラリーをしました。13の場所にミッションが用意され、何をするかは行ってみてのお楽しみ。校長室のミッションは校長とじゃんけんをすることでした。その他、図工室で「かなジイを描こう」、音楽室で「ハッピーバースデーを歌おう」、理科室で「150mlぴったりの水をビーカーに入れよう」などのミッションがあり、大いに盛り上がりました。ミッション終了後は紙で作ったろうそくを受け取り、大きなバースデーケーキに飾りました。最後の全校合唱では、この日のために結成した職員バンドの伴奏で、「ふるさと」を歌いました。

18日の児童の記念式では、児童実行委員長の話があり、記念樹（常緑ヤマボウシ）が紹介されました。児童下校後は、金沢区長をはじめ、金沢小学校ゆかりのご来賓の方々をお迎えしての式典を行いました。そのあとの「ふれあいタイム」は、オープンスクールにしました。普段は旧伊藤博文金沢別邸に貸し出している「伊藤博文寄贈のランプ」をこの日限定で展示したほか、昔の写真や資料の展示、洲崎・野島・町屋のお囃子演奏、140周年記念で作成した金小カルタでカルタ大会、金沢中学校吹奏楽部・木琴部のコンサートなど、児童や保護者、地域の方々、卒業生など、たくさんの方々に参加していただきました。最後はみんなで「思い出のムービー」を見て、校歌を合唱しました。（17日と18日の様子は一部HPでも紹介しています。）

記念式典やふれあいタイムを実施・開催するにあたっては、保護者や地域の皆様に、多大なるご支援・ご協力をいただきましたこと、感謝申し上げます。今後とも、本校の教育活動にご支援・ご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。